



## 会社概要



会社名:西谷技術コンサルタント株式会社  
業種:建設コンサルタント  
場所:〒682-0025  
鳥取県倉吉市八屋354番地1



### 【誰に向けて何を提供している会社なのか】

誰に?: 主に自治体(都道府県や市町村)に向けて

何を?: 新しい地域社会インフラの計画から設計、また既にあるインフラの維持や点検管理をサービスとして提供する

※「地域社会インフラ」とは?: 地域社会において、日々の生活を支える基盤となるもの。例えば道路、橋、下水道など。



## 経営者インタビュー

### 【経歴】

県外の建設コンサルタントに15年勤務していましたが、ずっと「**鳥取県で子育てがしたい**」という想いを持っており、転職を期にリターンをしました。都会に比べて鳥取は給料が安いです。しかし、私は技術士という資格を取ることで、資格手当によって給料を上げることができました。その後、課長、部長と昇進し、現在のポストを任されるようになりました。



役職:取締役、設計本部長

## 河本達郎さん

### 【鳥取暮らしのいいところ】

魚や野菜のおいしさは鳥取が一番です。たとえば大阪のスーパーで手軽に買うことのできる魚はアジと鯛くらいですが、倉吉ならパープルタウ恩に行けば色々な魚が手に入る。それをさばいて家族で食べるのが楽しいのです。USJのようなエンターテイメントは無いですが、**自分で遊びを探そう**という気持ちがあればいくらでも遊べます。

### 【企業の強み】

弊社には優秀な社員が勢ぞろいで、たとえば国土交通省から個人表彰を受けた社員が4人もいます。そんな彼らの部下には「先輩を超えるなきいかんぞ」と声をかけています。先輩の姿をベースにしてさらに上を目指すことが大事ですし、弊社の若手にはその素質を感じます。そして、管理職である私の役目は、彼らが最高のパフォーマンスを発揮するためにはどうすればいいかを常に考えることだと思っています。



### 【仕事を楽しくやるコツ】

若手のうちは下積みと勉強の日々なので、「楽しい」と思えるようなことは少ないかもしれません。しかし、一生懸命に頑張れば必ず**面白い**と思える瞬間がやってきます。私の場合は、相手の求めているものと自分の考えていること・持っているスキルとがぴったりとパズルのようにはまった時、その面白さが「楽しい」と思える瞬間です。おそらくそれを感じたのは30歳くらいのことだったと思うのですが、今となっては自分の財産だといえます。また、若手のうちでも、与えられた仕事を**自分から楽しむ・面白くしていこう**という気持ちを持つことが大事です。

# 社員インタビュー

年齢:23歳  
所属:調査部 一課  
入社歴:入社2年目



## 『Q 入社のきっかけ』

鳥取大学農学部の里地里山管理学コースで学んでいた時に、研究室の先生から「研究を活かせる企業があるよ」と紹介されたのが最初のきっかけです。また、県外出身者への住宅手当という他社にはない制度があり、岡山県出身の私にはとても魅力的でした。



## 『Q 入社前と入社後のギャップ』

卒業研究で建設コンサルタントの方とお話をしたので、業務へのイメージの違いはありませんでした。ギャップとは少し異なりますが、周りの工学部出身者に比べると専門知識がまだまだ足りないなと思うこともあり、入社後もコツコツと勉強を続けています。



## 『Q 学生へのアドバイス』

最近の就活はどんどんスケジュールが早くなっているので、1・2年生のうちからでもインターンシップや説明会へ行っておくことをおすすめします！特に、対面でしか感じられない雰囲気や、5日間以上かかる長めのインターンシップでしか得られない体験もあります。応援しています！

年齢:25歳  
所属:調査部 一課  
入社歴:入社2年目

## 『Q 入社のきっかけ』

鳥取大学の大学院で学ぶ日々の中で、6年間過ごした鳥取県で働きたいと思うようになりました。私が所属していた土木専攻の卒業生は、公務員、建設コンサルタント、ゼネコンのどれかに就職する人がほとんどなのですが、インターンシップでの経験を通して、知識を活かしながら地域貢献ができると感じた弊社を選びました。



## 『Q 会社の雰囲気は？』

入社の決め手にもなったのが、人柄の良さです。会社説明会などに参加するといつも社員さんが熱心に対応をしてくれたのを覚えています。入社してからも人の良さをあらゆる面で感じていて、たとえば自分が困った時には誰かが助けてくれるという安心感があります。規模の大きな企業では専門ごとのチームでの作業が一般的ですが、私たちの会社では設計の問題がある時に直接設計部の人に相談できる柔軟な環境があります。会社にいる人たちはほとんどが顔見知りで、基本的に相談すれば何でも教えてくれる優しい方ばかりです。

## 『Q 学生へのアドバイス』

私の研究室では就活を終えた先輩との繋がりがあり、面接練習を手伝ってもらったり、一緒に企業について調べてもらったりと色々お世話になりました。研究室の先輩と早くから関係性を作つておけば役に立つ情報を教えてもらいます。また、社会人になってから、専門的な知識を持たない人に向けて説明をしなければならない場面があり、「学生時代に伝える力を鍛えておけばよかった！」と思うことが多いです。参考になれば嬉しいです！

# 学生インタビュー

松原 実里さん 農学部 生命環境農学科 2年

社員の方の人柄、雰囲気がとてもよいと感じました。最初はとても緊張していましたが、会社のあたたかさに触れたことにより取材を気持ちよく進めることができました。地域に根差し、「この現場には私たちが」という誇りをもって働いていらっしゃることを実感しました。一人でできることは限りがあるので、どうやって人に教えてもらおうか、頼れるかについての話を聞いていただき、とても重要なことだと思いました。たくさんお話をありがとうございました。



林 春那さん 農学部 生命環境農学科 1年

最も印象に残ったのが、「コミュニケーションが取りやすい職場である」というお話です。他の課に所属している人にも話に行きやすく、上司とも円滑にコミュニケーションが取れる職場は理想的だと感じました。加えて、女性の休憩室があること、残業も少なく育休などが取りやすい職場環境は、女性の私から見るととても魅力的でした。また、河本さんの「仕事を楽しくしていくコツは、面白くすることだ」という言葉を聞き、私も「この仕事楽しい！」と思えるような仕事に出会いたいと思いました。